

今年度第1号の進路たよりです。夏休みを目前に控え、1学期をふりかえりましょう。

5月にコロナが第五類に移行し、ようやく学校生活の制限が取り除かれようとしています。学校生活だけでなく、さまざまな場面でたくさんの経験

をして欲しいです。

特に、受験を控えた中学三年生、高等部3年生は、夏休みをどう過ごすかが進路に大きく影響します。有意義な夏を過ごし、しっかりと力をつけてください。

## あしたのために その1 確認する習慣を身につける

### 今年の進路目標「確認する習慣を身につける」

社会にでると、さまざまな場面で責任をとるよう行動が求められます。忘れ物や期限を遅れても許してもらえない場面が増えていきます。聞いていたつもりや思い違いは致命的な問題に発展してしまうこともあります。「聞えにくさ」から来る聞き違いや思い違いが起きないように、毎日、毎回

指示されたことや予定を確認するようにしましょう。

このような毎日の学校生活や家庭生活で大事にしていくことが、社会的・職業的自立につながります。ご家庭での生活と連携してキャリア教育に取り組んでいきます。

(進路指導主事 宮本明子)

## 本年度の進路指導部のメンバー

**幼稚部 (松橋)** 進路指導部は初めてですが、みなさんと協力してより良い進路選択の手助けができるように頑張りたいと思います。

**小学部 (奥村)** 小学部2年目です。聾学校の進路活動は、分からない事が多いですが、勉強していきたいと思っています。

**中学部 (三浦)** 皆さんの進路の目標達成に向け、支援していけるよう頑張ります。

**(伊藤)** 中学部3年生担任と一緒に進路に関する情報の発信や整理、高校・高等部との手続きの遂行や調整などに関わっていきます。

**高等部 (宮本)** 高等部の就職や職場実習(インターンシップ)を中心に、進路指導部長として聾学校全体の進路に関わる取組を行っていきます。

**(笹之内)** 進路指導部は初めてなので、これから勉強してみなさんと一緒に進路のことを考えていきたいと思っています。(重複進路担当)

**(石井)** これまで経験したことのないこと続きの毎日ですが、せっかくの機会を大切に、自分にできることに取り組んでいきたいと思っています。

**(西川莉)** みなさんの進路が実現できるよう力になりたいと思います。

**(西村)** 進学を中心にみなさんの進路について共に考え、進路希望の実現に向けて全力でサポートします。

一年間どうぞよろしく願いいたします。

## 社会人との懇談会から

## 先輩に学ぶ

6月22日(木)、社会人との懇談会として、卒業生の〇〇〇〇さん(テクノヒューマンパワー(株)一般事務職勤務)、□□□□さん((株)デンソートリム生産関係職勤務)をお招きし、働くことについて、社会人と学生の違い、在学中に身につけておきたいことなど、お話を伺いました。

Photo

### 〇〇さん (一般事務職)

▶ **上司と相談して「対応カード」を作って**、社外の方にも私がきこえないことに気づいてもらえるようにしている。

▶ 社内の**ろう者の職員と月に一度は懇談**する場をもって、同じ立場としての悩みや課題を共有している。

▶ 漢検・英検・P検等積極的に**資格取得**に取り組んだり、クラブや生徒会などで**リーダー的な立場を経験しておく**ことは社会に出た時に役立つ。

▶ **自分がやりたい仕事を所長さんと面談**して、しっかり伝えた結果、希望の部署に配属していただけた。きこえないことでの困難もあるが、その都度相談して課題を解決して希望の職場で勤務できている。

Photo

### □□さん (生産関係職)

▶ 会社を選んだ理由は**インターンシップで自分に合っている仕事内容だと思った**から。幼い頃からモノ作りが好きだった。自宅からも近く通勤しやすい。

▶ 仕事に分からないことが起こったときなどは**異常等を知らせるボタンを押せば**、パトライトで誰かがすぐ対応してくれ、安心して働ける。

▶ 仕事をして**仲間が増えて、自分の楽しさが増えた**。障がい者同士の懇談会もある。

▶ 作業で失敗することもあるが、その際に作業指導してもらい、**次に同じような失敗を繰り返さないぞ**と気持ちを切り替えて作業することが大切。

▶ **敬語をふだんから使い慣れておく**必要がある。

▶ **勉強は大切**。その結果自分が希望する会社に入ることが出来た。

▶ **提出物は余裕を持って早目に出す**くせをつけておくこと。

今回の懇談会では、デンソートリムの人事課のT様からも会社の紹介だけでなく、高3生からの質問にも答えていただきました。

**Q : 面接で印象の良い学生からの質問ってありますか?**

**A :** 印象が良い学生からの質問というと、「入社前にどんなことを勉強しておけば良いですか」とか、きいてくれると「この子は凄くやる気がある子なんだな」と思います。□□さんが面接時に質問してくれたような「スポーツ活動等はあるのですか」というのも、会社に興味を持ってきているなと思うので、凄く印象が良いです。

**Q : 面接で大切なことは何ですか?**

**A :** 今、〇〇さん、□□さんからも答えていただきましたが、**ノックの仕方や挨拶の仕方、座り方などの第一印象はとっても大切**。面接は長くても30分ほどなので、最初の印象が悪いと「やっぱり、この子いい子なんだ」と思ってもらうのが間に合わなかったりします。だから第一印象は凄く大事です。みなさんも気をつけてください。

Photo

### 生徒の感想から

◎ 社会で働く上で大切なことは、自分がろう者であることを職場で一緒に働く人にしっかり伝えることだと分かりました。また、工場など騒がしい場での呼びかけに応じるのは困難なので、自分と話す上でしてほしいことをカードに書いておくことが大切だと知りました。

◎ 面接の時は、第一印象が大事だということ。学生のうちにマナーや勉強の基礎を築くことは、働いてからも大事だということが分かりました。

◎ 仕事での悩みは沢山あり、大変ですが人に聞き、解決するのが一番だと思いました。

◎ 先輩もコミュニケーションという壁を乗り越えて行っている。先輩のように、解決できるようがんばります。これからも、私達を見守っていて下さい。

# 高等部社会見学



7月11日(火)に高等部の社会見学で、AGF鈴鹿株式会社と住友電装鈴鹿製作所の2社を見学させていただきました。両社とも会社の概要説明の後、工場の見学、そして先輩社員との座談会(交流会)をさせていただきました。

見学のポイントとして「何をどのように作っているか」「会社として大切にしていること」「働くために必要な力」「SDGsの取り組み」の4つを考えながら見学しました。生徒それぞれが熱心にしおりにメモする様子や、先輩社員との座談会では時間が足りなくなるほど、積極的に質問をする様子が見られました。

## 本校卒業生のIさんのお話

コーヒーが好きだからこの会社に入った。会社ではSDGsの取組のひとつとして、地球環境に優しい容器包装や「ブレンディの森」の自然環境の育成にも務めている。



## 本校卒業生のSさんのお話

会社に入ってから勉強して資格を取ることはとても大事だ。資格をもっていれば、それだけ責任の重い仕事を任せてもらえる。給料アップにもなるし、仕事のやりがいも増す。



## 生徒の感想から

聾であることや、一緒に働く上で自分にどう接してほしいのかを社員の方にどう伝えるべきなのかも悩むと思うので、自信のことを知ってもらうことでコミュニケーションが取りやすくなり、一緒に働く人のためにもなるのだと思った。

ろう者の言葉の壁はやはり大きいので語彙力をつける必要があると実感した。自分から「こう対応してほしい」と積極的に言うことが大切。社会人になったら何でも自分から行動することが必要なのだとわかった。

# 三重県障がい者技能競技大会「アビリンピックみえ」に参加

7月1日(土)に、三重職業能力開発促進センター(ポリテクセンター三重)で開催された第21回三重県障がい者技能競技大会「アビリンピックみえ」に高等部3年生の〇〇〇〇さんが参加しました。

昨年度に引き続き参加した宮村さんは「表計算」競技に挑戦。この種目の参加は9名で、いずれも企業で勤務する方々のなかで、データ処理の難しい課題にも取り組みました。社会にでた時に必要なデータ処理を競技会で経験でき、勉強になりました。

来年は、新たな聾学校のメンバーがチャレンジしてくれることを期待しています。

## アビリンピックとは

アビリティ(能力)とオリンピックを合わせた造語で「障害者技能競技大会」の愛称です。

障害者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的として開催します。全国大会・世界大会もあります。パソコン文書作成・パソコン表計算・電子機器組立・ビルクリーニング・喫茶サービス・製品パッキング・オフィスアシスタントなどの競技があります。

## 進路希望調査(サービス利用調査)について

7月に全学部で進路希望調査(サービス利用調査)を実施しました。学部ごとに実施していた調査を統一し、学部が変わっても情報を引き継ぎ連携していくためのものです。

卒業後、福祉サービスをどのように活用していくのかによって進路が変わってきます。

児童生徒それぞれにあった進路選択をしていけるように、今後ご協力をお願いします。

## 外国人のろう者の方と交流します

12月14日(木)の中高進路講座は、名古屋にありますNPO法人名古屋ろう国際センターの代表の方をお招きして講演と聴覚障がいをもつ外国人の方と交流します。

NPO法人で働くことやさまざまな立場の方から話をきかせていただき、世界にも目を向けて自分の進路を考えていってほしいと考えています。保護者の方もぜひご参加下さい。

## 1年間のおもな進路に関わる学習等

	全体(保護者参加可能)	高等部(就職・進学)
1 学期	社会人との懇談会 中保護者授業見学会	社会見学
夏休み		進路対策、職場実習
2 学期	幼小保護者授業見学会・説明会 中高進路講座	就職試験(9月) 大学入試(10月~12月)
3 学期	就労体験発表会	就労体験

## ご家庭でのキャリア教育

# 声かけが子どもを守るワクチンになる

親からもらった言葉は、子どもの心を守るワクチンになります。

困難や逆境に直面したときに、親からの「声かけ」という予防接種を受けているかどうか?

それが子どもたちの行く先に大きく左右します。 出典「子どもの心を強くするすごい声かけ」(主婦の友社)

学校で発言ができない  
友達に言いたいことが言えない  
進んで何かをやらうとしないとき

× 「なんでできないの?」  
「〇〇ちゃんみたいにがんばりなよ」  
「そんなに内気でどうするの?」

○ 「じっくり考えられるのは、  
〇〇ちゃんのいいところだね」  
「自分のペースでいいじゃない」  
「一緒に考えてみようか」

「内向的」はつつしみ深さや  
おもいやりの裏返し

「どうせ無理」といって  
挑戦しようとしないうとき

「やればできる!がんばって!」  
「そうやってやる気がないから  
ダメなんだよ!」

「今できることをやってみようか」  
「まずはひとつやってみよう」  
「今日は5分だけやってみようか」

大きな目標を小さく分割。  
成功体験を積み重ねよう

子どもが泣きわめいたとき、  
かんしゃくを起こしたとき、  
言うことを全く  
聞いてくれないとき

「もう、いいかげんにしなさい!」  
「なんでそんなにわがまま言うの!」  
「〇〇しなさい!!」

「ちょっと私も気持ちを落ち着けるね」  
「どうしたらいいか一緒に考えよう」  
「私にできることある?」

自分のイライラを  
沈静化させてから声かけを